

平成25年度B日程入試法律専門科目試験 出題の意図

公法 出題の意図

問題1

本問は、三菱樹脂事件最高裁判決を題材としている。

問題では、憲法上の権利の私人間効力の問題について、従来の学説がどのように対応してきたかを正確に把握しているか、最高裁判所がその中でどの立場を示してきたかの理解を問い、本件のような事例の救済方法として、どのような具体的措置が妥当かを、問うのが出題の意図である。

問題2

問1 取消訴訟における訴えの利益を問う問題である。取消訴訟の機能、営業停止処分 of 法的効果について理解していれば、自然と解ける問題であろう。

問2 取消訴訟係属中に、通常、3月の営業停止期間は経過してしまうことを前提に、執行停止の要件についてどのように考えるべきかを問う問題である。

問3 裁量処分の瑕疵をどのように争うかという問題を通じて、処分の根拠規定を正確に読み解く能力、関連する事実を適切に拾い上げる能力を問う問題である。

私法 出題の意図

問題1

無権代理・表見代理、無権代理と相続に関する問題である。その論述により、民法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試されることになる。

問題2

会社分割（新設分割）における分割会社と分割会社の債権者との関係に関する問題である。その論述により、会社法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試されることにある。

刑法 出題の意図

建造物侵入罪と偽計業務妨害罪の成否を、問うものである。